

教育目標

1. 本校の教育目標

人間尊重の精神を基本にして、知・徳・体の調和のある生徒の育成。

- * 自分を大切にし、人を大切にする生徒を育てる。
- * 自ら考え、他人と協調し、たくましく生き抜く力を発揮する生徒を育てる。

2. 指導の努力点

(1) 学習指導の充実

- ① 生徒の学習への姿勢を整え、自主的・積極的な学習態度の育成をめざす。
- ② 日々の授業の充実をはかる。
- ③ 基礎学力の充実をはかる。
- ④ 授業時数の確保をはかる。
- ⑤ 道徳・学級活動の深化をはかる。
- ⑥ 自習時間の活用をはかる。
- ⑦ 自習効果を高めるための教育的諸条件の整備充実をはかる。
- ⑧ 総合学習の内容の充実をはかる。

(2) 生活指導の充実

- ① 基本的な生活習慣を身につけさせる。
 - ア きまりを守り、節度ある生活をしよう。
 - イ 服装を正しくしよう。
 - ウ 挨拶、言葉使いを正しくしよう。
 - エ 感謝の気持ちと思いやりの気持ちを忘れないようにしよう。
- ② 一人ひとりを理解し、個性の伸長をはかる。
 - ア 将来をみつめ、目標をもち日常生活を大切にしよう。
 - イ 個人の考え・立場・環境をより深く理解しよう。

(3) 人権同和教育の充実

- ① 人権意識を高める。
- ② 人権同和教育についての正しい理解と認識を深める。

(4) 環境整備の充実

- ① みんなできれいな学校にしよう。
- ② 物を大切にしよう。
- ③ 互いに協力して、後始末はきちりしよう。

(5) 体力づくり

- ① 自分の健康に関心を持ち、身体を大切にす。
- ② たくましく、ねばり強い体力をつくる。

3. 実践目標

- (1) 授業を大切にしよう。
- (2) きまりを守ろう。
- (3) 思いやりの心を大切にしよう。
- (4) 学校をきれいにしよう。
- (5) あいさつをしよう。
- (6) 身体をきたえよう。

4. 教職員の共通理解と共同実践

- (1) 学年会を中心とする、学級指導の充実。
- (2) 現職教育の充実。
- (3) 教育研修を拡充し、職員相互の理解と協力を深める。
- (4) いじめを許さない集団づくりに努める。